

# P 1

## 温清飲の各種 anaerobes に対する抗細菌作用

○ 桧垣修一 (富山医科薬科大皮膚科)

＜目的＞皮膚科領域で各細菌に対する影響に関する被験薬剤は主に抗菌剤と言える。一方、伝統医薬である漢方薬の各細菌に対する阻止作用の報告はいまだ数少なく、かつ *S. aureus* 等の aerobes が中心である。今回、各皮膚疾患に広く使用されている温清飲の anaerobes に対する抑止作用を検討した。

＜方法＞顔面炎症性痤瘡由来 *P. granulosum*、腋窩脂漏性湿疹由来 *P. avidum* や炎症性粉瘤由来 *Peptostreptococcus* spp. を用いた。*Propionibacterium* spp. や *Peptostreptococcus* spp. 同様に Rapid ANA II System や Crystal Anaerobic System 等を用いた。温清飲の *Propionibacterium* spp. や *Peptostreptococcus* spp. に対する MIC は日本化学療法学会測定法に準拠した。温清飲の *Propionibacterium* spp. に対する抗酵素活性では、anaerobes 用培地に温清飲を添加し、我々の考案した測定法を用いた。

＜結果＞*Propionibacterium* spp. や *Peptostreptococcus* spp. に対する温清飲の MIC は高値を呈した。温清飲は *Propionibacterium* spp. 酵素に対し阻止作用を示した。2 菌種とも酵素活性は活発で、温清飲濃度が高いほど阻止作用は増強した。

＜結論＞温清飲は抗炎症や抗菌作用を有する複数の構成漢方生薬により、*Propionibacterium* spp. や *Peptostreptococcus* spp. に対し抗細菌作用を示した。今回未検討の感染性を含めた各皮膚疾患に対しても温清飲は有意な抗細菌作用を示すことが示唆される。